

令和7年度 授業時数特例校制度の活用による学びの変革について ～京丹後市立大宮中学校～

【大宮学園 教育目標】 「自他を尊重し、自ら学ぶ子どもの育成」

【令和7年度 大宮中学校 重点目標】

「ふるさとを愛し、夢や希望をもって未来を切り拓く、心豊かでたくましい生徒の育成」

～ 人権尊重を基盤に、個をほめて、集団で認めて、他者（社会）とつなぐ ～

【授業時数特例校制度の活用】

標準授業時数は確保した上で、教科等ごとの授業時数の配分について一定の弾力化による「特別の教育課程」の編成を認める制度

(標準授業時数)		1015h
国語・社会・数学・理科・英語	総合	その他の教科
(授業時数特例)		
国語・社会・数学・理科・英語	総合	その他の教科

◇総授業時数（1015時間）は確保

◇年間、該当教科（国語・社会・数学・理科・英語）からそれぞれ2時間を「総合的な学習の時間」へ上乗せ

◇2年生の総合的な学習の時間を10時間上乗せして、教科等横断的な視点を大切にした探究的な学習に取り組む

授業時間数特例校制度による「探究的な学び」と教育課程の工夫による「業務改善」へのチャレンジ

「自己調整力」「心理的安全性」「メタ認知」を大切にした「未来社会を幸せに生きるための学力」※の育成

特別活動

- 生徒の「取り組みたい」を大切にする生徒会活動の企画・運営
- 学びを“アウトプット”する特別活動
- 学園の幼保小との連携

総合的な学習の時間

- 生徒の「わくわく」を大切にしたテーマ設定と学習計画
- 2年生の学習における探究的な学びのモデル創り（丹後学）
- 地域とともに進める探究学習

学習指導

- 生徒の「なぜ学ぶのか」「どう学ぶのか」に応える学習指導
- 単元構想を大切に具体化した学習指導計画の作成と実践
- 教科等を横断する学びの研究

※「未来社会を幸せに生きるための力」…

- ①知識・スキルの再現・再生力
- ②課題を見つけ、他者・ICTと協働する力
- ③根拠と思いやりの中で自ら判断・表現・行動する力

大宮中学校の基本の考え方

○本市が目指すグローバル人材の育成、本校が目指す「未来社会を幸せに生きるための学力」の育成のため、教科等横断的な視点に立った資質・能力の育成と探究的な学習の充実

○大宮地域をはじめとする丹後の産業や事業所等と連携・協働する中で、「人」「もの」を通じた体験等の学びの中から「大中モデル」を創造し、本市の「丹後学」の充実・発展を目指す